

第216回 番組審議会

1. 日 時 平成24年10月9日(火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 12名
出席委員数 10名(欠席委員数 2名)

○ 出席委員(敬称略)

中村 慶久(委員長)
竹中 陽一(副委員長)
—以下50音順—
木戸場美代子
斎藤 雅博
東海林 千秋
菅原 正二
原 圭介
八木橋 伸之
役重 真喜子
吉田 浩次

○ 会社側出席者(7名)

佐藤 滋樹(代表取締役社長)
小原 忍(専務取締役)
藤澤 利憲(常務取締役)
前田 秀男(取締役編成技術局長)
藤原 銀司(取締役営業局長)
岩渕 博美(岩手めんこいテレビ編成部副部長)
紅屋 幸樹(めんこいエンタープライズ制作部)

○ 事務局 佐々木 久仁子

4. 議題

「山・海・漬」赤レンガの洋館～岩手銀行中ノ橋支店1世紀の軌跡～
平成24年8月25日(土) 18:30～19:00放送

5. 議事概要

今回は8月25日(土)に放送した「山・海・漬 赤レンガの洋館～岩手銀行中ノ橋支店1世紀の軌跡～」を審議しました。議事の概要は以下の通りです。

●岩手めんこいテレビ 岩渕プロデューサーの説明

- ・ 「山・海・漬」は、岩手の人や物・事を遊び心を持って紹介するというコンセプトで1996年にスタートし、来年1月に700回を迎える。
- ・ 土曜日の夕方6時30分からの放送ということで、堅い感じや、勉強させられている感じではなく、幅広い年代の方に楽しんでもらえる番組作りを心がけている。
- ・ 今回は国の重要文化財である岩手銀行中ノ橋支店が、100年にわたる銀行業務に幕を下ろすということで特集した。

●めんこいエンタープライズ 紅屋ディレクターの説明

- ・ 盛岡市のランドマークとして一世紀、多くの人々に親しまれてきた赤レンガの洋館岩手銀行中ノ橋支店の魅力を30分という限られた時間でどのように紹介するか考えた。赤レンガの建物の素晴らしさは今後も触れることができるが、現役の銀行としての姿は二度と見ることはできないと考え、そこで働く行員の方々の姿も盛り込んで紹介することにした。
- ・ 今という時代の雰囲気や空気感を映像を通して後世まで伝え残したいという思いがあった。

● 出席委員からの意見・感想

- ・ 現役の銀行としての最後と、過去の一世紀の軌跡が30分という短い時間の中でよくまとめていた。
- ・ 歴史的建造物の重みを再認識した。
- ・ 番組の構成がわかりやすく重量感、信頼感が感じられた。
- ・ 映像が非常に凝っていてカメラマンのこだわりを感じた。
- ・ 普段目にすることができない銀行のバックヤードを見ることができた貴重な番組だった。
- ・ 30分という時間では短く、物足りない感じがした。
- ・ 設計した辰野金吾氏の説明や時代背景など、掘り下げがほしかった。
- ・ 同じ辰野金吾氏が設計した東京駅と比較してもよかったのではないかな。
- ・ 今後復元され活用されることをテロップだけでもいいので伝えてほしかった。そうすることで、市民の関心や支援の輪も広がるのではないかな。
- ・ 新しく生まれ変わる赤レンガの洋館を再度番組として制作してほしい。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

- * 平成24年10月10日（水） 産経新聞 東北版

- * 平成24年10月20日（土）午前4時30分から4時45分まで「めんこいテレビ 批評」内で放送

- * 据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

8. その他の参考事項

特になし